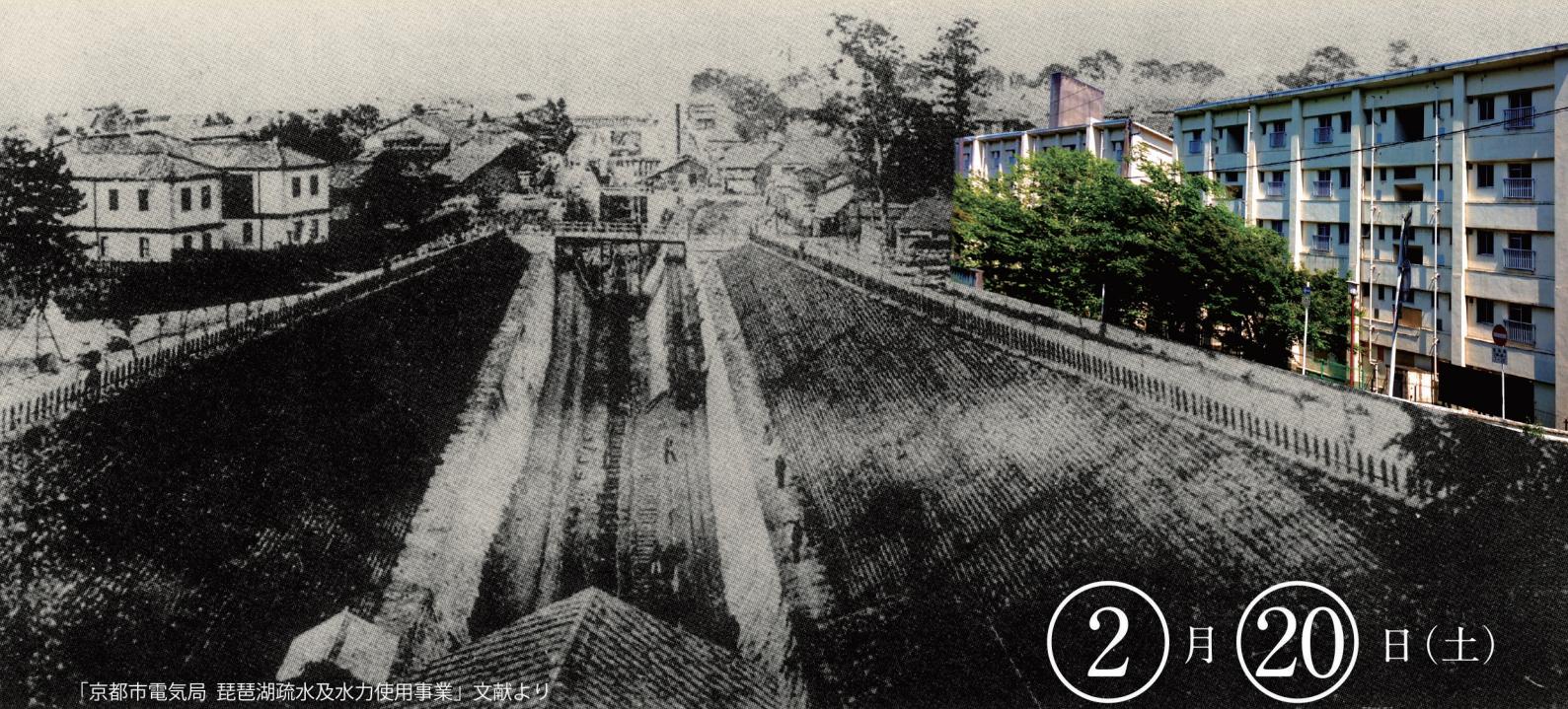


大津歴まち百科フォーラム

リノベーションで まちづくりを考える

～大津市中心部の文化遺産と旧長等合同宿舎の活用をめぐって～



②月②〇日(土)

概要

日 時 2016年2月20日(土) 13時30分～16時30分(受付13時開始)

会 場 三井寺事務所 講堂 滋賀県大津市園城寺町246

参加料 無料(三井寺入山受付で「フォーラム参加」とお伝え下さい)

定 員 150名(事前申込制)

司会・フォーラム統括アドバイザー

中川理(京都工芸繊維大学教授・建築史学会会長)
歴まち大津の未来を考える会会員

講師

いしまるあきこ(リノベ女子代表)・コイケシホコ(大阪市立大学准教授)
徳田光弘(九州工業大学准教授)・山根健太郎(建築設計事務所エキスピ)

申込

ホームページの申込みフォームまたはメール・FAXにて、氏名・住所・連絡先を記入の上お申し込み下さい。

申込みフォーム：<http://rekimachihyakka.jp/form05/> メール：info@rekimachihyakka.jp FAX：077-522-2221

お問合せ：077-522-2238

主催：歴まち大津の未来を考える会 <http://www.rekimachiotsu.jp>
後援：滋賀県 滋賀県教育委員会 大津市 大津市教育委員会

平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)を受けて実施しています。



大津歴まち百科フォーラム

『リノベーションでまちづくりを考える』

～大津市中心部の文化遺産と旧長等合同宿舎の活用をめぐって～

私たちは、豊かな自然と歴史が育んできた大津市中心部の文化遺産を活用し、斬新なアプローチで楽しみ、考え、行動することにより、人々が誇りをもって暮らせる地域を創造していくことを目的としています。そこで、ここでは今は使われなくなった国家公務員合同宿舎の跡地・建物をテーマに取り上げ、フォーラムを開催します。

1969年に建設されたこの宿舎は、いわゆる団地型の集合住宅の一つで、大津市中心部にある琵琶湖疏水や三井寺など数多くの文化遺産に隣接する素晴らしいロケーションを占め、すでに40年以上にわたって大津市中心部の景観の一部となっていました。

そこでフォーラムでは、周辺をとりまく文化遺産を活用しつつ調和したかたちで、この宿舎を継続して利用する可能性を探り、歴まち大津にふさわしい未来像を創造するために、リノベーションの実践で活躍している方々をお呼びし、いっしょに考えます。

会場アクセス

- 京阪電鉄 京津線「上栄町」駅より徒歩約12分
- 京阪電鉄 石山坂本線「三井寺」駅より徒歩約10分
- JR琵琶湖線「大津」駅北口（びわこ口）より徒歩約17分
- 三井寺駐車場より徒歩約9分



司会・フォーラム統括アドバイザー

中川理（京都工芸織維大学教授・建築史学会会長）
（歴まち大津の未来を考える会会員）

いしまるあきこ（リノベ女子代表）

女子ひとりでもできるセルフ・リノベーションをテーマにした「リノベ女子」の活動や空き家を活用する「空き家開き」、東京・表参道に建っていた同潤会青山アパートメントをテーマとした「Re1920 記憶」展を全国で開催するなど多彩な活動で知られる。日本建築学会会誌『建築雑誌』編集委員。

コイケシホコ（大阪市立大学准教授）

一級建築士事務所「ウズラボ」を共同主宰。大阪市立大学が取り組んできた大阪豊崎の長屋の再生事業（豊崎プラザ）を担当。この事業は、グッドデザイン賞など多数の賞を受賞したが、これによる「再生ストック活用力育成プログラム」で日本建築学会教育賞（教育貢献）も共同受賞。

徳田光弘（九州工業大学准教授）

北九州におけるリノベーションによる都市再生活動をリード。北九州家守舎取締役、リノベリング取締役、リノベーションスクール（グッドデザイン賞等受賞）の代表をつとめ、昨年は、一般社団法人リノベーションまちづくりセンター代表理事として、リノベーションまちづくり学会を立ち上げる。

山根健太郎（建築設計事務所エキスピ）

一級建築士事務所エキスピを共同主宰。大正時代の雰囲気が残る老舗旅館の元ダンスホールをカフェバーとして蘇らせるなど、京都において、主に住宅や店舗の改修やリノベーションの設計に取り組む。